

損益状況<連結>

(単位:億円)

	28年3月期	前期比	27年3月期
	経常収益	1,925	△13
連結粗利益	1,510	△38	1,548
資金利益	1,202	△10	1,213
役員取引等利益	257	+6	251
特定取引利益	2	△1	3
その他業務利益	47	△32	80
営業経費	1,008	△51	1,060
不良債権処理額	43	△11	54
株式等損益	△5	△40	34
経常利益	464	△17	481
親会社株主に帰属する当期純利益	288	+6	282
自己資本比率	10.30%	△0.83%	11.13%

28年3月期の連結業績につきましては、経常収益は前期比13億円減少の1,925億円となりました。

連結粗利益は、資金利益とその他業務利益が減少したことにより、前期比38億円減少の1,510億円となりました。

経常利益は、株式等損益が減少しましたが、営業経費および不良債権処理額の減少により、前期比17億円減少の464億円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比6億円増加の288億円となりました。

連結自己資本比率は、10.30%となりました。

28年3月期の配当につきましては、普通株式は期末一括で1株当たり4円25銭、第1回第5種優先株式は中間・期末とも所定の1株当たり7円50銭(年間15円)とさせていただきます。

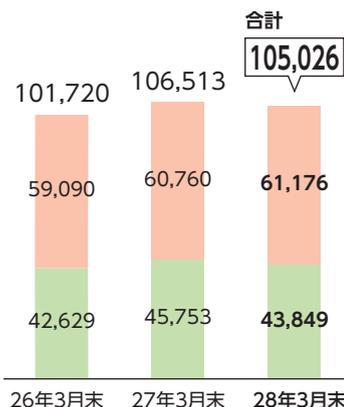
預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

(億円)

預金(含む譲渡性預金)

10兆5,026億円



法人預金は堅調に増加しましたが、譲渡性預金が減少したことから、前期末比1,487億円減少しました。

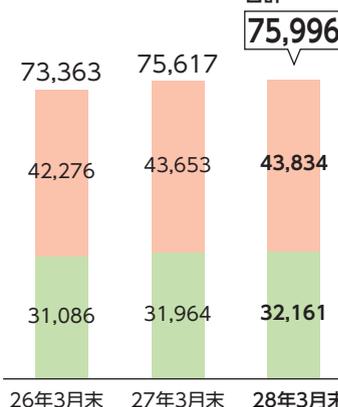
貸出金<2行合算>

北陸銀行
北海道銀行

(億円)

貸出金

7兆5,996億円



地方公共団体等向け貸出は減少しましたが、事業性貸出の増加により、前期末比378億円増加しました。

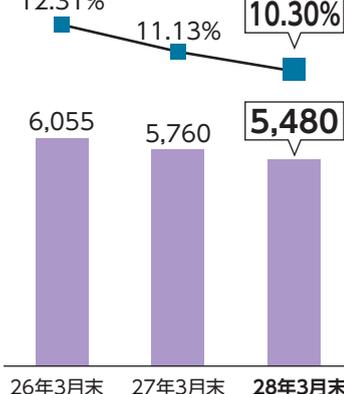
自己資本比率<連結>

自己資本
自己資本比率

(億円)

自己資本

5,480億円



自己資本比率

10.30%

利益の積み上げを図った一方、劣後ローンの返済により、前期末比0.83ポイント低下しました。

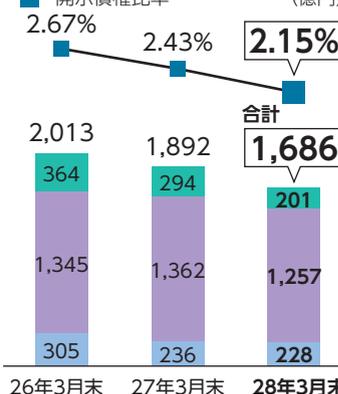
金融再生法開示債権<2行合算>

要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率

(億円)

金融再生法開示債権

1,686億円



前期末比206億円減少しました。

開示債権比率
2.15%

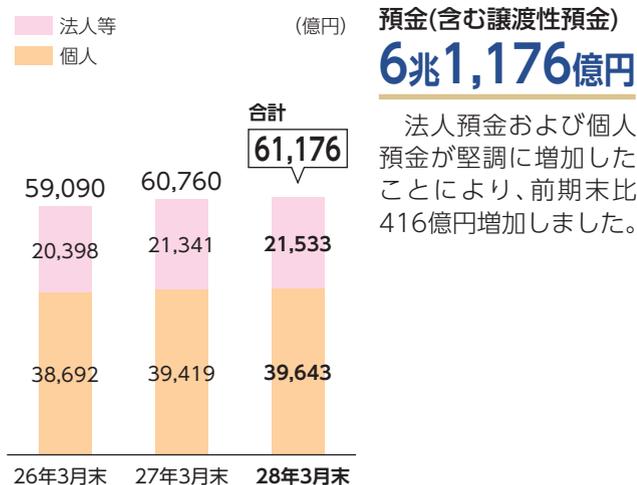
前期末比0.28ポイント改善しました。

損益状況

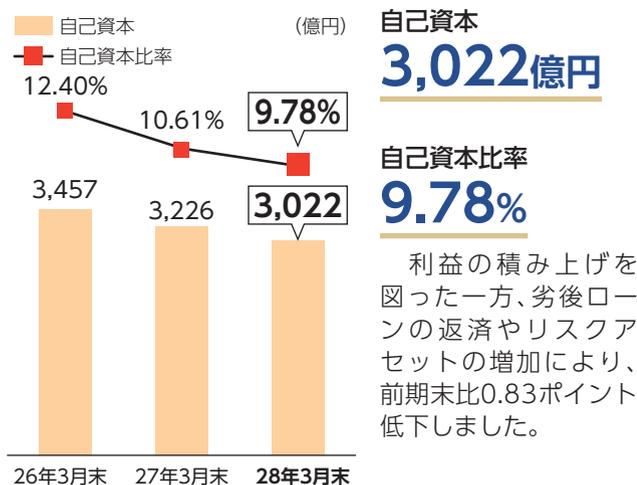
(単位:億円)

	28年3月期	前期比	27年3月期
経常収益	933	△6	940
コア業務粗利益	753	△11	765
資金利益	634	△5	640
役員取引等利益	106	+0	105
特定取引利益	1	△0	2
その他業務利益	10	△5	16
経費	486	△18	504
コア業務純益	266	+6	260
業務純益*	271	△25	296
与信費用	△11	△28	17
株式等損益	△0	△1	1
経常利益	267	+22	245
当期純利益	165	+18	146
自己資本比率	9.78%	△0.83%	10.61%
※ 一般貸倒引当金繰入前			
連結経常収益	935	△6	942
連結経常利益	267	+22	245
親会社株主に帰属する当期純利益	165	+18	146

預金(含む譲渡性預金)



自己資本比率



コア業務粗利益は、貸出金利の減少を有価証券利息相当金の増加で一部カバーし、前期比11億円減少の753億円となりました。

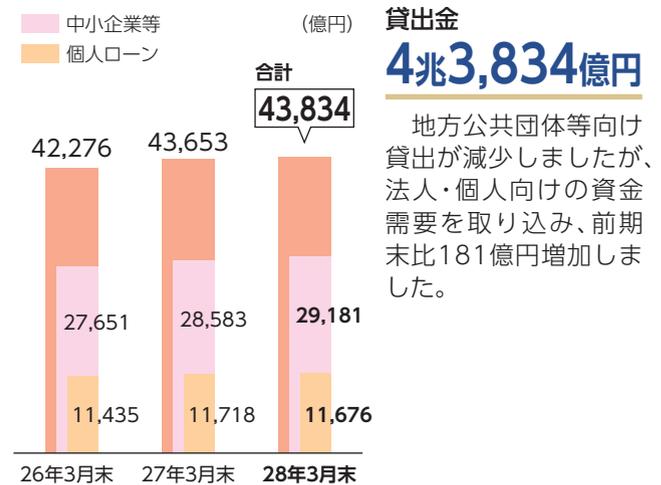
コア業務純益は、物件費等の経費の減少により、前期比6億円増加の266億円となりました。

経常利益は、国債等債券損益が減少しましたが、与信費用の減少等により、前期比22億円増加の267億円となりました。

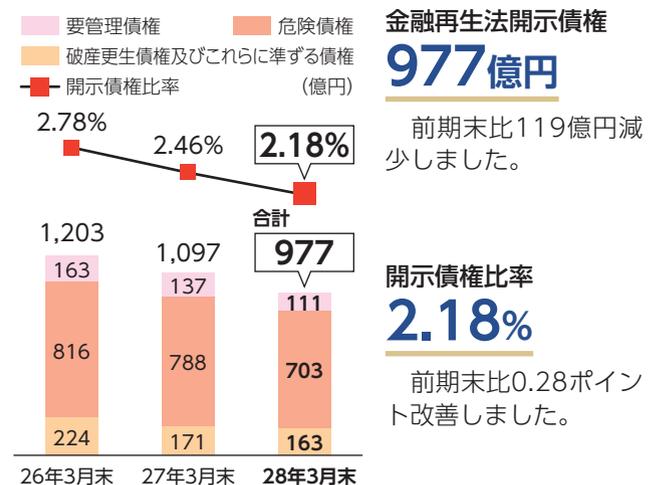
当期純利益は、前期比18億円増加の165億円となりました。

連結経常収益は前期比6億円減少の935億円、連結経常利益は前期比22億円増加の267億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比18億円増加の165億円となりました。

貸出金



金融再生法開示債権



損益状況

(単位:億円)

	28年3月期	前期比	27年3月期
経常収益	855	+1	854
コア業務粗利益	676	△6	683
資金利益	574	△6	581
役務取引等利益	93	+0	93
その他業務利益	7	△0	8
経費	422	△8	431
コア業務純益	253	+2	251
業務純益*	257	+7	250
与信費用	48	+5	42
株式等損益	△5	△38	33
経常利益	200	△26	226
当期純利益	134	△1	135
自己資本比率	10.23%	△0.52%	10.75%
※ 一般貸倒引当金繰入前			
連結経常収益	875	+4	871
連結経常利益	203	△31	234
親会社株主に帰属する当期純利益	133	△4	138

コア業務粗利益は、有価証券利息配当金が増加しましたが、貸出金利息の減少により、前期比6億円減少の676億円となりました。

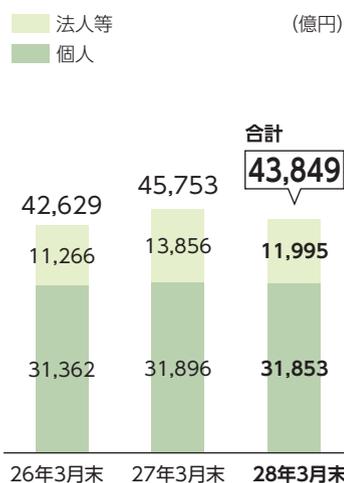
コア業務純益は、物件費等の経費の減少により、前期比2億円増加の253億円となりました。

経常利益は、株式等損益の減少や与信費用の増加により、前期比26億円減少の200億円となりました。

当期純利益は、前期比1億円減少の134億円となりました。

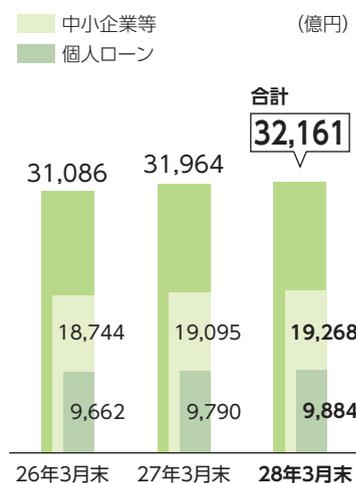
連結経常収益は前期比4億円増加の875億円、連結経常利益は前期比31億円減少の203億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比4億円減少の133億円となりました。

預金(含む譲渡性預金)

預金(含む譲渡性預金)
4兆3,849億円

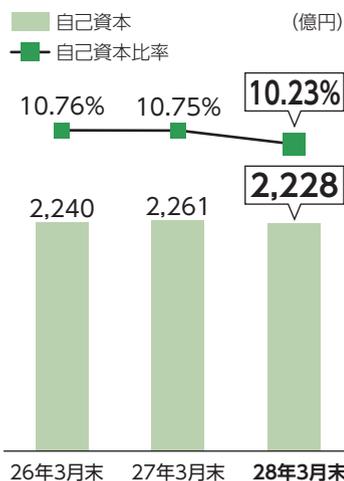
譲渡性預金が減少したことから、前期末比1,903億円減少しました。

貸出金

貸出金
3兆2,161億円

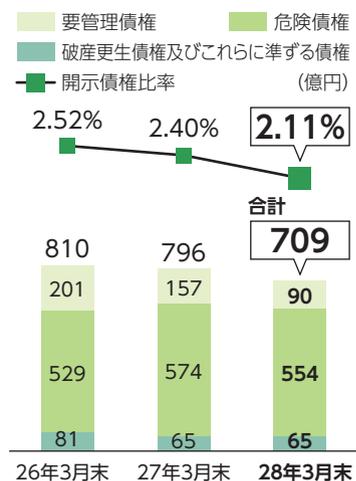
地方公共団体等向け貸出が減少しましたが、法人・個人向けの資金需要を取り込み、前期末比196億円増加しました。

自己資本比率

自己資本
2,228億円自己資本比率
10.23%

利益の積み上げを図った一方、劣後ローンの返済やリスクアセットの増加により、前期末比0.52ポイント低下しました。

金融再生法開示債権

金融再生法開示債権
709億円

前期末比86億円減少しました。

開示債権比率
2.11%

前期末比0.29ポイント改善しました。